



# でんえい会誌 第21号

名古屋工業大学電気系同窓会誌

<http://www.denei.jp/>



## <大学と卒業生との連携>

情報工学教育類 北村 正 (Es48)

(電影会会長、卒業生連携室長)

<http://alum.nitech.ac.jp/>

平成 16 年 4 月に国立大学が法人化され、6 年単位の中期計画のもとで、第 2 期の 4 年目を終えようとしています。法人化後は、本学も厳しい環境の中にありますが、現在の中期計画には、これまであまり関係を持ってこなかった卒業生や同窓会組織との連携を挙げています。これは、本学にとって卒業生が重要な存在となってきたことを示しています。

そのため、大学では平成 23 年 4 月に学長直轄下に卒業生連携室を発足いたしました。発足に際して私が卒業生連携室長に任命され、具体的な活動を開始し 3 年目が終わろうとしています。ここでは、本学が目指している卒業生との連携活動等について述べ、卒業生のご理解を頂きたいと思います。

### 【卒業生連携室設立の目的】

連携室設立の目的は

- (1) 本学の教育・研究及び地域連携の活動状況等の優れた研究成果を紹介すること、
- (2) 大学全体の同窓会である名古屋工業会、各学科の同窓会(単科会)及び保護者との連携を図ること、
- (3) 本学の学生・教員との相互交流を図る場を提供すること、

などです。本学の研究、教育等の様々な取組みを理解して頂くとともに、大学と卒業生の交流の場を設けそれに積極的に参加して頂くことを主眼としております。

### 【卒業生連携室の活動】

連携室では設置目的を具体化するために、以下の活動を行っております。

- (1) 名工大メールアドレスの提供

名工大卒業生だけの独自ドメイン(@nitech.jp)を持つ生涯利用できるメールアドレスです。このメールアドレスを大学と卒業生、卒業生同士の連絡を取る手段として活用可能です。平成 26 年 2 月末現在の登録者数は 3705 名(平成 22 年度以前卒 307 名)です。

現在はホームページを通して、名工大メールアドレスの提供と名簿登録を行っていますので、是非ご登録・ご利用をお願いいたします。

#### (2) メールマガジンの配信(年六回程度)

大学のホームページには本学の様々な情報が置かれていますが、登録された卒業生等に有用と思われる情報(大学 HP、学生新聞、連携室作成の情報)などをメールマガジンにより定期的にお知らせしています。また、毎回クイズを出題し、正解者には大学関連の粗品をお送りしています。現在、卒業生、保護者、退職者に対して送られています(送付数 3908 名)。

#### (3) 卒業生名簿の一括管理

卒業生連携室設置以前は、大学では正式な卒業生名簿がありませんでした。しかし、卒業生は大学にとって重要な存在という認識で、卒業生統一データベースを作成することとなりました。平成 23 年度以降の卒業生はすべて登録済みですが、それ以前の卒業生の情報も順次登録予定です。今後は各単科会や名古屋工業会との連携を行い、名簿を充実させていく予定です。

### 【名古屋工業会、単科会との連携】

名古屋工業会からは大学に支援金を頂いておりますが、平成 24 年度からは国際化活動のために活用が可能となりました。今まで、多くの学生や教員が海外留学などで利用しております。更に、就職を控えた学生のための講演会には本学 OB の講師を派遣して頂き、学生が就職を考えるための助けとなっています。

また、クラス同窓会で学内を見学したいというご要望に対して、連携室では単科会幹事と相談して見学スケジュール調整の便宜を図っております。ご希望の際には、連携室にご相談下さい。

## ＜グローバル共生情報研究センター が創る新たな情報科学＞

情報工学教育類 佐藤 淳

(グローバル共生情報研究センター センター長)

情報系として初の研究センターが名古屋工業大学に設置されました。グローバル共生情報研究センターです。その一風変わった名前に、何を研究するのか疑問に思われる方も少なくないと思います。それもそのはず、この研究センターは、情報科学の一つの新しい方向性を開拓することを目的に設置されました。

近年、急速にグローバル化が進展し、世界中で文化面でも経済面でも政治面でも大きな変革が起こっています。グローバル化は私たちに多くの恩恵をもたらしていますが、一方で、これまでにない様々な問題を引き起こしつつあります。例えば、文化や歴史観などの違いから国同士が対立することが急増しています。また産業界においては今や海外展開が必須となりつつあるのに対して、言語や文化や価値観の相違が日本企業の海外ビジネス展開を阻んでいます。一方、精神面や身体機能面において相違を持つ非健常者は社会の不安定化や高齢化と共に増加しており、引きこもりや介護施設で暮らすお年寄りなど、社会から隔離されて暮らす人々が急速に増加しています。今後ますます進展して行くグローバル化と多様化の中で地球規模での社会の安定や発展を支えるためには、これらの問題を解決する新たな科学技術の開発を一刻も早く進める必要があります。

グローバル共生情報研究センターは、このような状況に鑑みて、地球規模での共生を支える新たな情報技術を研究開発することを目的に設置されました。本研究センターでは、言語、文化、歴史観、価値観、精神機能、身体機能などの差異を超えて、人々がコミュニケーションを取り、合意形成し、共生することのできる社会の実現に向けた情報技術の開発を進めます。このために、本研究センターには、シンビオティック・コミュニケーション研究部門、シンビオティック・ライフ研究部門、シンビオティック・クリエーション研究部門の3つの研究部門を置き活動を始めました。



また、この3月18日には開所記念国際シンポジウムを開催し、ハーバード大学の Parkes 教授や理化学研究所の Cichocki 博士に招待講演をして頂くと共に多くの方々にご来場頂き、本センターの目指す姿についてディスカッションして頂きました。

本研究センターの今後の活動に対する皆様方のご参画やご支援を是非お願い致します。



## ＜名古屋工業大学マレーシア事務所＞

電気電子工学教育類 曾我 哲夫 (E57)

(マレーシア事務所長)

名古屋工業大学は、国際交流の推進のために、中国とマレーシアとドイツの3か所に海外事務所を設置しています。各事務所はそれぞれ、北京化工大学(中国)、マラ工科大学(マレーシア)、エルランゲン・ニュルンベルク大学(ドイツ)内にあります。本稿ではマレーシア事務所について経緯や現在の状況について簡単に報告します。

これまで本学は、マラ工科大学(Universiti Teknologi MARA, UiTM)やマレーシア工科大学(Universiti Teknologi Malaysia, UTM)を中心としたマレーシアの大学と、共同研究や学生の受入れ等を通して学術交流を行ってきました。2007年には共同研究を行うための実験室

(UiTM-NIT Nanotechnology Laboratory)をマラ工科大学内に作って頂きました。また、2009年と2011年に独立行政法人日本学術振興会の事業が採択された時は、マレーシアから多くの学生や教員を本学で受け入れました。また、2010年には本学のマレーシア同窓会も設立されています。このようなこれまでの交流実績から、クアラルンプールの郊外のシャーアラムにあるマラ工科大学を本学の海外拠点とすることになり、平成25年3月海外事務所が設置されました。逆に、マラ工科大学の事務所も共同利用の部屋ですが、本学の21号館に設置されています。事務所はマラ工科大学電気工学部の7階にあり、図1の様な看板が掛かっています。また、部屋はパソコンとプリンターが設置されたオフィスです。

マレーシア事務所は、マレーシアを中心とした東南アジアの大学とのセミナーやシンポジウムの開催及び名古屋工業大学とマレーシアとの共同研究支援を通して優秀な人材確保と養成を行い、学術・教育交流の推進や本学の情報発信等を行うことを目的としています。平成26年3月にマレーシア事務所はマラ工科大学と共同で International Conference on Nanoscience and Nanotechnology 2014 (Malaysia-Japan International Conference on Nanoscience and Nanotechnology) をマレーシアで開催し、約150人の参加がありました。この国際会議は2006年から約2年に1回行っているものであり、マレーシア事務所としても重要な行事で、この国際会議を通して交流の輪が広がっています。

マレーシア事務所が設立されてほぼ1年経過したのですが、実際にはまだ交流が活発に行われているとは言い難いのが現状です。予算もほとんどありませんし、本学からマレーシアに長期出張で滞在することも難しいです。今後は引き続きマレーシアを中心とした東南アジアの大学との学術交流の推進、マレーシア同窓会との連携による本学を卒業してマレーシアに在住しているOBとの交流、海外からの優秀な学生の確保等を検討していきたいと思えます。今年から中部国際空港からクアラルンプールの直行便も就航することになり、交流が益々盛んになることを期待しています。



図1 マレーシア事務所の外観

### <名古屋工業大学ヨーロッパ事務所>

名古屋工業大学ヨーロッパ事務所 (NITech Europe Liaison Office) が弊学大学間学術交流協定校であるエルランゲン・ニュルンベルク大学 (ドイツ) Faculty of Engineering 内に開設されることになりました。電影会 HP の以下のリンク先に詳細の情報を掲載させていただいておりますので、ご一読ください。

<http://www.denei.jp/news/1383153880.html>

### <就職状況について>

#### 電気電子工学教育類 就職担当 菊間 信良 (Es57)

平成25年度3月卒業の電気電子工学関連の研究室の学生の就職担当を務めさせて頂きました。担当した進路指導対象学生は学部生、大学院生を合わせて約250名でした。

今年度も昨年度同様、従来の主流であった大手電機メーカー(特に家電メーカー)からの求人が減った状態が続き、自動車関連、機械、金属・鉄鋼、窯業などの会社からの求人が多くありました。このような状況の下、平年並みの約480社から求人募集をいただきました。また、約140社との企業面談を致しました。この企業面談を通して感じたことは、これまで以上に電気系技術者を採用したいという声が多かったことです。具体的には「電気自動車の部品開発」、「組込系のハードウェア設計開発」、「生産機器の制御」などに電気系技術者が求められていると感じました。また、コミュニケーション能力は勿論ですが、「ハートのある学生が欲しい」という熱い声もありました。

お陰様で、本年度就職希望の学生につきましては、1

月の時点で、大学院修士 100 名(内定率 100%)、第一部 34 名、第二部 3 名の進路が確定しました。その中で学校推薦による内定者の割合は大学院 54%、第一部 31%となりました。また、大学院博士前期課程進学者(進学率)は第一部 106 名(74%)、第二部 4 名(57%)でした。

学校推薦で応募しても不合格の場合もあり、昨今の就職活動の厳しさは噂通りであることを実感いたしました。ちなみに、学校推薦者の初回の内定合格率は 62%(大学院修士、第一部、第二部の合計)でした。一方で、OB がリクルータとして、学生の就職活動を支援していただいたことが、非常に大きな力となっていることを確信し、大変有り難いと思いました。また、本学のキャリアサポートオフィスもエントリーシートの作成指導や模擬面接を熱心に行って下さり、感謝でいっぱいです。

今後とも、電気電子分野の就職に関しまして、変わらぬご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

#### 情報工学教育類 就職担当 内匠 逸 (Es57)

平成 25 年度の情報系就職担当として、中村剛士准教授と共に、博士前期(修士)課程 116 名、第一部学部 154 名、第二部学部 4 名の学生の就職活動をサポートしました。修士の学生は 5 名が後期課程に進学し、博士号取得に挑みます。105 名は一般企業に就職します。いっぽう、学部学生は、2/3 にあたる 108 名は大学院生等として残り、46 名が企業への就職を決めています。

情報系への求人として 324 社から求人票を頂きましたが、昨年度比では 60 社減でした。推薦依頼の数(225 社)は横ばいと見えています。これは、自由応募を主軸とする採用活動において、求人情報提供と募集の手段が Web 系就活サイト主流になったことを反映しています。昨年度、情報系では推薦による進路決定が 50%弱まで減少したと石橋教授から電撃会誌に報告されました。今期は就職先を推薦で決めた修士は 35%、学部学生に至っては 10%となりました。

自由応募の就職活動は師走から開始されます。かたや推薦応募は、4 月以降に応募、面接はゴールデンウィーク以降に開始です。年末から、Web で求人情報が氾濫すると学生達は焦り始め、推薦を待ちきれず自由応募に走

ります。優秀な本学の学生は、2 次、3 次面接と進みますので、推薦応募のメリットを享受しようとする学生が多くなります。

自由応募では、同時並行で多くの企業の採用試験を受けるため、時間的、金銭的な負担が大きくなります。特に大学院生の研究に支障が出ており、看過できない状況に至ったと判断しています。これを受けて、次年度の就職担当の松尾教授は、学生に対して、より質の高い企業を推薦できるよう情報提供と推薦応募のメリット向上の両面から努力されています。さらに次々年度以降、就職活動開始が 3 か月ほど後ろ倒しになる事にも期待しています。

最後に、学生の就職活動でお世話になりました OB 各位に厚くお礼申し上げますとともに、推薦応募する学生へのご理解とご支援をお願い申し上げます。

### <充実した名工大の生活に感謝>

神戸大学 白石 善明

2006 年 4 月に助教授として着任して 7 年半在職させていただきました本学大学院情報工学専攻を退職し、2013 年 10 月より神戸大学大学院工学研究科電気電子工学専攻で勤務しております。ここに執筆する機会をいただきましたので、この場をお借りしてお世話になりました皆様にご挨拶申し上げます。

採用時からお世話になっている岩田彰先生の研究室と連携させていただくことで、研究室の立ち上げからその後の退職まで岩田先生にご面倒をおかけすることは多々あったと存じますが、個人的には特に困ることもなくのびのびと研究室の運営ができました。出られない年もやむを得ずありましたが、岩田研のゼミに参加し、学生の研究テーマに関与することで、自身の研究室だけでは獲得できなかったいろいろなことを知ることができ、研究の幅を広げることができました。また、岩田先生の学生へのご指導は基本に忠実かつ的確で、学生のときの自身の訓練が粗雑であったことを反省し、学生指導の面で土台の形が変化する大きな影響を受けました。このような環境に恵まれたことは大変な幸運でした。

研究の幅を広げるという点では、優秀な学生と一緒に考えながら進めることができたというのも大きな意味合い

## ＜試訳・電影会歌＞

株式会社廣瀬技術研究所 廣瀬 光利 (E50)

電影会役員会の席で、電影会歌は『昔はどう歌われていたのだろうか』と問いかけられたのは、平成 24 年のことでした。あいにく私は昭和 46 年入学の若い世代ですから、往時の電影児がどのように歌っていたかは定かではありません。

しかし、名工大で開発された話題のボーカロイド(歌声合成システム)Sinsy がこの歌を歌って、YouTube にアップするという計画の話でしたので、興味を持って記憶をたどってみました。

私自身は在学中には歌ったかどうか記憶はおぼろげです。新歓コンパでは先輩たちが歌っていた、あるいは歌って聞かせてくれたように思います。他にもたくさん、楽しい歌がありました。卒業後にときどき出席していた電影会総会では、親睦会の終わりには決まって電影会歌を歌っていましたから、『昔は・・・』の問いには、その場にいらっしやった大先輩の様子を思い出します。

意味不詳のまま歌っていた電影会歌の歌詞が、卒業後ずっと気にかかっていたので、この機会に少し調べて、現代語の意識を試みました。その過程で、清水勤二先生が名づけられた『電影会』の名称と、作曲者早川弥左衛門先生の功績について、興味深い発見をいたしました。本誌には、誌面の都合で歌詞と意識部分だけを示しましたが、下記 URL には、歌詞・意識内にある参照番号に対応する解説を掲載しました。ぜひご覧ください。

<http://www.denei.jp/magazine/201404-2.pdf>

YouTube の Sinsy の歌声で電影会歌を聞きながら、学生時代に思いを馳せてくださればうれしく思います。

<https://www.youtube.com/watch?v=gmeuPawuv7Y>

若い電影会会員の方々にとっても、私のように意味不詳で歌っていた方にとっても、この記事が歌唱の一助となり、毎年 5 月の電影会総会で電影会歌と一緒に声高らかに歌えれば最高です。

ご指導下さった名古屋工業大学大学院教授 山本いずみ先生に感謝申し上げます。

(電影会歌歌詞意識、註釈: 廣瀬光利(E50))

名工大メールアドレス: m.hirose.995@nitech.jp )

を持っていました。興味を持ってもらえる研究室にするにはどうしたらよいかと学生と試行錯誤をする中で、3 年目くらいからここでやってみたいと考えた卒研究生が配属されるようになってきました。その辺りから、引き継ぎ型のお仕着せなテーマではなく、学生の得意なこと、やってみたいと思っていることと学会や社会の動向を踏まえた上で、構想から研究を立ち上げるということに挑戦できるようになりました。学生と私の双方ともに大変ですが、それを研究室の基本路線とすることで、先輩や私から吸収し、後輩に継承すべき暗黙知は何かということも学生も意識するようになり、新たな知識を創造しうる基礎力を持ったたくましい学生が育つようになりました。ある種独特の雰囲気や研究コミュニティの中でも出せる研究室になったのも、全員が主体性と協調性を持って研究室という場を知識創造のプラットフォームにしていくというコンセプトに賛同し、実践してくれた誇り高き学生たちのお陰でした。

私事で退職させていただくことになりましたが、以上のようなすばらしい環境で生活させて頂いたことには感謝の言葉しかありません。年度途中での退職で、たくさんの先生にご迷惑をおかけすることになりましたが、情報工学教育類長の佐藤先生、情報工学専攻長の和田山先生、メディア情報分野代表の北村先生、メディア系教務学生委員の本谷先生をはじめとしてメディア系および情報工学教育類の先生方には円滑に退職ができるようにいろいろ取り計らっていただきまして感謝しております。紙面の都合でお名前を出せなかった先生には失礼をご容赦いただければ幸いです。

末筆になりましたが皆様のご発展をお祈り申し上げ、簡単ではございますがお礼のご挨拶とさせていただきます。

## ＜寄稿原稿＞

量子コンピューターを「弁証法解析」する

安良城 勝也 (E25)

安良城勝也様(E25)から論文をご投稿いただきました。電影会 HP の以下のリンク先に論文を掲載させていただいておりますので、ご一読ください。

<http://www.denei.jp/magazine/201404-1.pdf>

電影会歌 1)、2)、8) 清水勤二 竹田喜一 作詞 早川弥左衛門 作曲

<p>1番 文化の華を飾るべく 花に聳ゆるわが校舎 仰げ進取の旗印 四年の誓い いや固く 契りて立てる若人の 声に不撓の響きあり</p>	<p>ぶんかのはなを かざるべく はなにそびゆる わがこうしゃ あおげ しんしゅのはたじるし よとせのちかい いやかたく ちぎりてたてる わこうどの こえにふとうの ひびきあり</p>	<p>(入学)(意識) 「日本の産業中心地を興し育てることを目的として」<sup>3)</sup> 設立されたわれらの大学は、 第一句 学術の成果をあげ、文化の華を飾るとい 使命感に満ち、 第二句 咲き誇る桜花の中に、聳え立っている。 第三句 進んで物事に挑戦して時代を先取りして来た 先輩たちに敬意を払い、 第四句 新入生であるわれらも卒業まで学問に邁進する ことを誓い、その誓いをますます固くする。 第五句 固く誓い合って立っている、われら若人、 第六句 その発する声には、どんな困難にあっても 決して負けないという決意が漲っている。</p>
<p>2番 春繚乱の花のかげ 秋清澄の星の下 熱き血潮の高鳴りて 聖き希望となるところ 不退の歩歩も撓みなく 進みて止まむ健男子</p>	<p>はる りょうらんのはなのかげ あき せいちょうのほしのもと あつきちしおの たかなりて きよききぼうと なるところ ふたいのほほも たゆみなく<sup>4)</sup> すすみてやまむ けんだんじ</p>	<p>(学問) 第一句 春は咲き乱れる桜の木陰で学び、 第二句 秋は清く澄んだ星明かりの下で学ぶ。 (春夏秋冬移り変わる季節の中で、学問を深めるほどに) 第三句 「情熱を傾けて学び立派な理想を持ちたい」 という熱い思いはますます高まって行き、 第四句 この大学で、純粋で高潔な希望となっていく。 第五句 後戻りすることなく、一步一步進むその歩みは、 いかなる時も留まることはない。 第六句 さあ、立ち止まることなく、前進し続けよう、 心身共に健やかな若人よ。</p>
<p>3番 若き血潮の溢るれば 静かに立ちて寄る窓に 伊吹の夢もほのかにて 紅もゆる雲の色 意気こそ挙ぐれ大丈夫の たぎる胸にもいたらずや</p>	<p>わかきちしおの あふるれば しづかにたちて よるまどに いぶきのゆめも ほのかにて くれないもゆる くものいろ いきこそあぐれ ますらおの たぎるむねにも いたらずや</p>	<p>(恋) 第一句 若い身体には、熱い血潮が溢れている。 (それは学問ばかりではない。) 第二句 (燃える思いを秘め、) 静かに窓辺に佇むと、 第三句 (窓ガラスにかかる白い) 息吹の向こうに 夢(のようにあなたの姿)がほのかに浮かぶ。 第四句 (遥かなあの伊吹山<sup>5)</sup>にかかる) 紅に燃える 雲の色。 第五句 (その鮮やかな色を目にし、) 若人の意気は ますます高まる。 第六句 (しかし学問への情熱は、) 秘めた思いに 高ぶる胸にも及ばないのだろうか。 (いや、学問への情熱は、恋慕の情より強い。 さあ、今は学問の道を邁進しよう)<sup>6)</sup></p>
<p>4番 噫々大空に照る月の 影永久に変わりなく 木曾の流れに映じては 悠々として行く水を 汲みてや尽きむ交わりの その名ゆかしき電影児</p>	<p>ああ おおぞらにてるつきの かげ とこしえにかわりなく きそのながれに えいじては ゆうゆうとして ゆくみずを<sup>7)</sup> くみてやつきむ まじわりの そのなゆかしき でんえいじ</p>	<p>(卒業、そして電影会) 第一／二句 大空を照らす月の光は永久に 変わることがない。 第三／四句 その月影を映す木曾川の清い流れも、 悠々と、変わることなく流れていく。 第五句 さあ、木曾川の流れのように 尽きることなく酒を酌み交わそう。 汲めども尽きぬ木曾川の流れのように、 われらの友情も終わることなく続いていく。 第六句 そんなすばらしい人々が集まるのは一体 どんな会なのだろうと、誰もが知りたがる。 これこそ電影会であり、そこに集うわれらは 電影児である。</p>

平成 25 年度事業報告

1. 会合

- 電影会総会 H.25.5.24 名工大 23 号館
- 第 1 回役員会 H.25.10.9 名工大大学会館
- 学内幹事会 H.25.12.9 名工大大学会館
- 第 2 回役員会 H.26.2.26 名工大大学会館
- 幹事会 H.26.3.25 名古屋工業会館

2. 事業

- 学生向け講演会
  - (1) H.25.10.25  
三菱重工株式会社 眞部 文聡 氏  
「原子燃料サイクルと高温ガス炉について」
  - (2) H.25.10.30  
株式会社ディック電子 取締役執行役員  
大野 日出夫 氏 (Es48)  
「成長への挑戦」
  - (3) H.25.11.8  
ルネサスエレクトロニクス 柏本 浩二 氏 (E59)  
「キーテクノロジーとしてのアナログ半導体設計～  
半導体業界の現状と電源・電池制御 IC の最新技術動向紹介」
- 新入生向け電影会案内 H25.4.5
- 卒業祝賀会 H26.3.23
- 電影会会誌発行(第 20 号)H.25.4
- 大学行事補助 6 件
- 卒業生と学生との懇談会 H.26.1.24
- 電影会賞贈呈 H26.3.23

平成 25 年度決算

科目	収入	科目	支出
繰越金	4,337,856	通信費	638,477
入会金	1,590,000	印刷費	619,410
工業会より	70,000	事務費	5,116
利息	6,833	会合費	324,885
雑収入	366,500	学生行事補助	692,331
寄付金	1,334,952	大学行事補助	30,000
		総会補助	40,000
		支部活動費	150,000
		インターネット経費	72,430
		雑費	1,890
		人件費	300,000
		繰越金	4,831,602
合計	7,706,141	合計	7,706,141

平成 26 年度事業計画 (案)

1. 会合

- 電影会総会 ○役員会
- 幹事会 ○学内幹事会

2. 事業

- 新入生向け電影会案内 ○学生向け講演会
- 電影会会誌発行 ○卒業祝賀会
- 電影会ホームページの充実 ○電影会賞
- 大学行事への補助
- 卒業生と学生との懇談会

平成 26 年度予算 (案)

科目	収入	科目	支出
繰越金	4,831,602	通信費	670,000
入会金	1,600,000	印刷費	676,000
工業会より	70,000	事務費	20,000
利息	300	会合費	255,000
雑収入	0	学生行事補助	700,000
寄付金	1,000,000	大学行事補助	50,000
		総会補助	50,000
		支部活動費	150,000
		名簿管理・化ナ初経費	77,000
		雑費	10,000
		植樹費用	200,000
		人件費	300,000
		繰越金	4,343,902
合計	7,501,902	合計	7,501,902

平成 26 年度役員(案)

- 名誉会長 井上丈太郎 (E 13)  
犬飼英吉 (E 28)  
神谷昌宏 (E36)  
中村光一 (E41)
- 会長 北村正 (Es48)
- 副会長 木下清彦 (E36) 土居秀行 (E37)  
川村信之 (E53) 内匠逸 (Es57)
- 理事 岩塚真之 (E56) 山中清 (J 52)  
菊間信良 (Es57) 三宅正人 (E60)
- 監事 市原正樹 (E48)
- 庶務理事 廣瀬光利 (E50) 岩崎誠 (E61)
- 会計理事 酒井公孝 (J54) 布目敏郎 (EJh10)
- 編集理事 岸直希 (EJh12) 松井俊浩 (EJh7)
- 庶務補佐 小坂卓 (EJh6)
- 会計補佐 酒向慎司 (Ih11)

## 学位取得者一覧

### 機能工学専攻

平成 26 年 3 月 課程修了者 (授与日:平成 26 年 3 月 23 日)

氏名	論文題目	主査教員名
FRANK WILSON AMALRAJ	Reliability Studies on MOCVD Grown AlGaIn/GaN HEMT on Si Substrate	江川 孝志
BAO WUJISIGULENG	First Principles Study on Band Offsets at the Cu <sub>2</sub> ZnSnS <sub>4</sub> Based Heterointerfaces	市村 正也
YANG KAI	Fabrication of Thin Films of Semiconductor Alloys Containing Cu- and Fe-Sulfides by the Electrochemical Deposition Method	市村 正也
VEQUIZO JUNIE JHON AGDADARO	Electrodeposition and Characterization of Oxide Semiconductors (SnO <sub>2</sub> , Ga-O, and Fe-O) Thin Films	市村 正也

平成 26 年 3 月 特例 課程修了者 (授与日:平成 26 年 3 月 31 日)

SONG YING	Electrochemical Deposition of Cu <sub>2</sub> O/ZnO Heterojunctions and Applications to Solar Cells	市村 正也
-----------	---	-------

### 情報工学専攻

平成 26 年 3 月 課程修了者 (授与日:平成 26 年 3 月 23 日)

加藤 孝宜	高次振動モードを有する位置決め機構の 2 自由度ロバスト制振制御系設計	岩崎 誠
加藤 嗣	位相シフト法を用いた三次元形状計測における高精度・高速化に関する研究	梅崎 太造
KIM EUJIN	Model-Based Motion Control Technique for 6-Axis Industrial Robots	岩崎 誠
前橋 亘	位置と力の制御系に内在する各種非線形要素のモデル化と補償	岩崎 誠
BAI PENG FEI	Comparison Theorems on Volume Elements of Trajectory-Balls and Area Elements of Trajectory-Spheres for Kaehler Magnetic Fields	足立 俊明
山崎 一徳	巧緻性と固有感覚の定量的評価システムの開発	森田 良文

### 創成シミュレーション工学専攻

平成 25 年 9 月 課程修了者 (授与日:平成 25 年 9 月 4 日)

関崎 真也	Advanced Voltage Control of Distribution System with a Large Amount of Photovoltaic Generators	鶴飼 裕之
-------	--	-------

平成 26 年 3 月 課程修了者 (授与日:平成 26 年 3 月 23 日)

高木 信二	CONTEXTUAL ADDITIVE STRUCTURES IN HMM-BASED SPEECH SYNTHESIS	徳田 恵一
-------	--	-------

### 未来材料創成工学専攻

平成 26 年 3 月 課程修了者 (授与日:平成 26 年 3 月 23 日)

LI XU YANG	Synthesis of copper oxide and zinc oxide nanowires by thermal oxidation for photovoltaic devices	曾我 哲夫
BAO JIAN FENG	Synthesis of Carbon Nanomaterials by Thermal Chemical Vapor Deposition Method	曾我 哲夫

## 入試・就職状況

昨年度の入試状況と就職状況は以下の通りです。

### 平成 26 年度入学者選抜状況

#### 電気電子工学科 (一部)

	推薦	前期日程	後期日程
募集人員	10	84	45
志願者数	42	286	285
受験者数	42	273	160
合格者数	11	91	49

#### 情報工学科 (一部)

	推薦	前期日程	後期日程
募集人員	20	94	50
志願者数	70	264	313
受験者数	70	241	165
合格者数	22	96	56

第一部私費外国人留学生特別選抜

	電気電子工学科	情報工学科
募集人員	若干名	若干名
志願者数	12	13
受験者数	12	11
合格者数	4	4

編入学・転入学 (一部:3年)

	電気電子工学科	情報工学科
募集人員	若干名	若干名
志願者数	31	20
受験者数	30	19
合格者数	12	8

電気情報工学科 (二部:一般選抜前期日程)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
5	39	37	7

大学院・情報工学専攻(博士前期課程)

	推薦	一般選抜	私費留学生
募集人員	42	78	若干名
志願者数	50	131	7
受験者数	49	124	6
合格者数	49	93	2

大学院・情報工学専攻(博士後期1次選抜)

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数
5	8	8	8

※機能工学専攻・創成シミュレーション工学専攻・未来材料創成工学専攻・産業戦略工学専攻の選抜状況は省略

平成 25 年度卒業生就職状況

	電気電子工学科			情報工学科		
	大学院※	一部	二部	大学院※	一部	二部
卒業生	101	145	7	114	157	4
進学者	1	106	4	5	105	0
研究生	0	1	0	0	3	0
一般企業	98	34	3	105	43	3
公務員	2	1	0	0	3	0
教員	0	0	0	0	0	0
帰国(留学生)	0	1	0	1	0	0
休学他	1	4	4	9	6	1
未定者	0	2	0	3	3	1

※機能工学専攻・創成シミュレーション工学専攻・未来材料創成工学専攻・産業戦略工学専攻を含む

電影会賞

この賞は、電影会準会員の向学心向上と優秀な学生の育成を目的とし、卓越した成績で卒業し、今後の科学技術の発展に貢献すると思われる有望な学生を表彰することを目的としています。平成 25 年度の実賞者は以下の方です。

氏名、所属
石川 侑樹、第一部電気電子工学科
江口 弘樹、第一部電気電子工学科
大石 佳樹、第一部電気電子工学科
粉川 泰樹、第一部電気電子工学科
佐久間 淳、第一部電気電子工学科
島本 拓也、第一部電気電子工学科
坂野 聡一、第一部電気電子工学科
浅野 達彦、第二部電気情報工学科

氏名、所属
川本 大和、第一部情報工学科
杉本 かい、第一部情報工学科
鷲見 典克、第一部情報工学科
中野 克哉、第一部情報工学科
福本 真輝、第一部情報工学科
村松 真、第一部情報工学科
森田 信吾、第一部情報工学科
渡辺 行俊、第一部情報工学科

学生の学会表彰

紙面の都合上、受賞内容の詳細は省略させていただきます。

賞の名称、氏名、所属、指導教員氏名
平成 25 年電気関係学会東海支部連合大会電気学会論文発表賞 B 賞(2014.1)、加藤孝宜、情報工学専攻、岩崎誠教授
平成 25 年電気関係学会東海支部連合大会電気学会論文発表賞 B 賞(2014.1)、前橋亘、情報工学専攻、岩崎誠教授
副学長表彰(2014.2)、森正樹、創成シミュレーション工学専攻、鶴飼裕之教授
保護リレーシステム研究会若手優秀発表賞(2014.1)、坂泰孝、創成シミュレーション工学専攻、鶴飼裕之教授
平成 25 年度 EMCJ 若手研究者発表会優秀発表賞(2013.7)、勝健太、情報工学専攻、王建青教授
IEEE GCCE Best Student Paper Award (2013.10)、澤田将直、情報工学専攻、櫻井優教授
IEEE ICCE Best Student Paper Award (2014.1)、大越喬介、情報工学専攻、櫻井優教授
副学長表彰(2014.2)、浅井石南、情報工学専攻、竹下隆晴教授
電気学会優秀論文発表賞 A(2014.3)、宮崎賢祐、情報工学専攻、竹下隆晴教授
名古屋工業会賞(2014.3)、鈴木一馬、電気電子工学科、竹下隆晴教授

賞の名称、氏名、所属、指導教員氏名
名古屋工業会賞(2014.3)、磯崎順平、電気電子工学科、竹下隆晴教授
産業応用工学会賞(2013.9)、八神佑輔、機能工学専攻、水野幸男教授
電気学会 B 賞(2014.1)、伊奈紘志、機能工学専攻、水野幸男教授
平成 25 年度名古屋工業大学学生表彰(学術活動部門)学長表彰(2014.2)、山崎一徳、情報工学専攻、森田良文教授
永井科学技術財団賞 奨励賞(2014.3)、酒井昌夫、情報工学専攻、森田良文教授
日本機械学会若手優秀講演フェロー賞(2013.5)、安北理人、情報工学専攻、森田良文教授
コミュニティ工学アワード 2013 奨励賞(2014.2)、前田芳江 他、情報工学専攻、森田良文教授
電気学会東海支部長賞(2014.3)、NGUYEN CONG CHU、電気電子工学科、森田良文教授
名古屋工業会賞(2014.3)、犬塚秀紀、第二部電気情報工学科、森田良文教授
霜寿賞(2014.3)、山崎大輔、第二部電気情報工学科、安田和人教授
2013 年(第 31 回)電気設備学会全国大会発表奨励賞(2013.11)、花田裕一、情報工学専攻、青木睦准教授
電子情報通信学会無線通信システム研究会平成 25 年度初めての研究会優秀発表賞(2013.6)、稲葉悠馬、情報工学専攻、岡本英二准教授
電子情報通信学会東海支部平成 24 年度学生研究奨励賞(2013.6)、京拓磨、情報工学専攻、岡本英二准教授
電子情報通信学会 電磁界理論研究会 学生優秀発表賞(2014.3)、野村知輝、情報工学専攻、平田晃正准教授
霜寿賞(2014.3)、加納慎也、第二部電気情報工学科、平野智准教授
電気学会東海支部長賞(2014.3)、大山伸幸、電気電子工学科、平野智准教授
計測自動制御学会中部支部 第 45 期支部賞学業優秀賞(2014.3)、吉川滉也、電気電子工学科、北川亘助教
IEEE CQR 2013 Best Paper Award(2013.5)、富松拓也、創成シミュレーション工学専攻、石橋豊教授
電子情報通信学会東海支部学生研究奨励賞(2013.6)、黄平国、創成シミュレーション工学専攻、石橋豊教授
電子情報通信学会東海支部学生研究奨励賞(2013.6)、前田慶博、創成シミュレーション工学専攻、石橋豊教授
IEEE Nagoya Section Student Paper Award(2014.1)、Mya Sithu、創成シミュレーション工学専攻、石橋豊教授
ICCA 2014 Best Paper Award(2014.2)、Mya Sithu、創成シミュレーション工学専攻、石橋豊教授
第 11 回情報学ワークショップ奨励賞(2013.12)、福本真輝、情報工学科、岩田彰教授・白石善明准教授
情報処理学会第 76 回全国大会学生奨励賞(2014.3)、磯部光平、情報工学科、岩田彰教授・白石善明准教授
情報処理学会第 76 回全国大会学生奨励賞(2014.3)、大塚祐輔、情報工学科、岩田彰教授・白石善明准教授
情報処理学会第 76 回全国大会学生奨励賞(2014.3)、北村優汰、情報工学科、岩田彰教授・白石善明准教授
副学長表彰(2014.2)、加藤嗣、情報工学専攻、梅崎太造教授
精密工学会技術奨励賞(2013.9)、YU QI YUE、情報工学専攻、梅崎太造教授
第 12 回情報科学技術フォーラム FIT 奨励賞(2013.9)、YU QI YUE、情報工学専攻、梅崎太造教授
電気関係学会東海支部連合大会連合大会奨励賞(2013.9)、YU QI YUE、情報工学専攻、梅崎太造教授
動的画像処理実利用化ワークショップ DIA2014 研究奨励賞(2014.3)、YU QI YUE、情報工学専攻、梅崎太造教授
副学長表彰(2014.2)、村瀬智光、産業戦略工学専攻、梅崎太造教授
第 17 回東海地区音声関連研究室修士論文中間発表会総合 3 位(2013.8)、村瀬智光、産業戦略工学専攻、梅崎太造教授
日本音響学会東海支部優秀発表賞(2013.12)、村瀬智光、産業戦略工学専攻、梅崎太造教授
情報処理学会第 76 回全国大会学生奨励賞(2014.3)、東拓実、産業戦略工学専攻、梅崎太造教授
情報処理学会東海支部平成 24 年度学生論文奨励賞(2013.5)、奥村健太、情報工学専攻、北村正教授
第 12 回情報科学技術フォーラム FIT 奨励賞(2013.9)、長田若菜、情報工学専攻、北村正教授
情報処理学会第 76 回全国大会学生奨励賞(2014.3)、宮田佳奈、情報工学専攻、北村正教授
情報処理学会第 76 回全国大会学生奨励賞(2014.3)、頭川愛、情報工学専攻、北村正教授
DEIM2014 学生プレゼンテーション賞(2014.3)、細井純太、情報工学専攻、高橋直久教授
2013 年度教育情報システム学会学生研究発表会優秀賞(2014.3)、小澤賢一郎、情報工学科、高橋直久教授
2013 年度教育情報システム学会学生研究発表会優秀賞(2014.3)、鈴木翔太、情報工学科、高橋直久教授
DICOMO2013 優秀プレゼンテーション賞(2013.7)、成瀬猛、情報工学専攻、白石善明准教授
DICOMO2013 優秀プレゼンテーション賞(2013.7)、奥村香保理、情報工学専攻、白石善明准教授
DICOMO2013 ヤングリサーチ賞(2013.7)、宮寄仁志、情報工学専攻、白石善明准教授
DICOMO2013 優秀論文賞(2013.8)、成瀬猛、情報工学専攻、白石善明准教授
第 12 回情報科学技術フォーラム FIT 奨励賞(2013.9)、渡邊恵太、情報工学専攻、加藤昇平准教授

賞の名称、氏名、所属、指導教員氏名
第12回情報科学技術フォーラムFIT 奨励賞(2013.9)、伊東孝浩、情報工学専攻、加藤昇平准教授
電気関係学会東海支部連合大会連合大会奨励賞(2013.9)、牧原義人、情報工学専攻、加藤昇平准教授
情報処理学会第76回全国大会学生奨励賞(2014.3)、加藤拓也、情報工学専攻、加藤昇平准教授
情報処理学会第76回全国大会学生奨励賞(2014.3)、森田信吾、情報工学専攻、加藤昇平准教授
名古屋工業大学学長表彰(学術活動部門)(2014.2)、橋本高志良、創成シミュレーション工学専攻、津邑公暁准教授
情報処理学会東海支部学生論文奨励賞(2013.5)、江藤正通、創成シミュレーション工学専攻、津邑公暁准教授
計算機アーキテクチャ研究会若手奨励賞(2014.1)、鈴木大輝、情報工学科、津邑公暁准教授
HSS Design Award クリエイティブ賞(2014.3)、堀陽介、情報工学科、中村剛士准教授
KES 2013 Best Paper Award(2013.9)、立松慧大、情報工学専攻、中村剛士准教授
第12回情報科学技術フォーラムFIT 奨励賞(2013.9)、羽佐田智之、情報工学専攻、松井俊浩准教授

## 電影会運営資金寄付者

以下の方々より寄付をいただきました。ご高配に厚く御礼申し上げます。なお、学科の略語の記載を省略し、卒業年のみ記載させて頂きましたので予めご了承ください。

昭14 菊池秀樹 多田良之 渡辺憲一	昭40 大隅東也 小沢容 田中泰孝 山本健美
昭16 阿部勝美 荒川鉄一 窪田文雄 辻良男	昭41 石丸隆英 宇野啓一 大島孝二 岡本幸雄 神本勝巳 中村光一 前越久
昭17 山本富男	昭42 伊藤洋太郎 大野繁雄 小島一男 中山静夫 水野重雄 吉村洋典 阿江勉 青木猛 櫃本紘一
昭18 伊藤哲二 永島達雄 本間吉夫	昭43 稲村光夫 沢野勝 重見健一 百瀬次生 太田忠久 牧野正俊 湯本攻
昭20 浅井宏 浅野義夫 伊藤博英 垣見秀心	昭44 木原清 片桐清志 岸野文郎
昭21 松井康太郎	昭45 坂上真二 下條豊 中島豊四郎 野口義廣 羽山憬一 森公 松崎敦志
昭22 伊藤季彦 遠藤正敏 大友博幸 大橋五郎 川口史郎 玉田博二 西川清司 真下藤雄 村上庄之介	昭46 高橋章 山田吉英
昭23 青山忠生 加藤文男 竹内節 田中三男 恒川三郎 中井二夫 中島昭一 堀彦兵 牧野和正 松下昭 水谷末一 吉田昭二 分部力	昭47 加藤元三郎 川越英二 田島耕一 原尾則行 山内一昭
昭24 井上高明 志津野嘉秋 田坂弘次郎	昭48 市原正樹 川端康己 蓮田史則 平野功男 米山高志 北村正 中島正敏 電子工学科昭和48年卒有志
昭25 青山春彦 安良城勝也 泉館昭則 荻野孝 加藤裕 後藤正 白井光雄 須田馨 林文雄 古山博典 間瀬卓夫	昭49 赤木泰文 西村政信 藤沢篤史 前田光雄 水野正路 朝倉吉隆 緒方善郎 須藤敏雄
昭26 伊藤健男 沖辻寛 奥村士郎 加藤隆 兼子共明 小林繁利 阪口貢 高木博彦 野々目芳道 藤田利夫 松原英二 吉野毅	昭50 荻原義也 廣瀬光利 眞鍋和人 土井昌康 浜岡重男
昭28 金森利行 杉岡太郎 西澤明 山田速水	昭51 東功 岩波保則 山田秀夫 太田仁啓 杉本英行 吉村元
昭29 市川次郎 伊藤英輔 太田耕二 酒井兼夫 志賀拡 都筑登 長井俊彦 渡邊康男	昭52 内海和彦 山中清 久保田徹 宮脇誠 森壽保
昭30 内田忠良 加藤規 北野祐一 武田節子 恒松隆男 中西洋二 不破幸雄	昭53 小栗茂久
昭31 梅村英三 大嶋光朗 神野茂 辻村尚明 丸山薫 武藤保	昭54 慈博雄 片岡良平 竹田治徳 戸田利明 吉田誠治 白井武 大前義信
昭32 新剛実 今村哲 植田俊男 岡野修 久保仁 徳丸正司 水谷安郎 三輪純一郎 森千鶴夫	昭55 岩崎政彦 中田義朗
昭33 荒井英二 伊藤正秋 金谷嘉博 木村欽哉 寺社下政美 高橋等 寺林康治 中谷恭朗 早川文雄 兵藤隆 藤田正浩 前島一雄	昭56 石橋豊 岩塚真之 西山寿美 山口初一 浅羽哲朗
昭34 芦崎重也 岡田明義 草野洋 鈴木倭 俵康雄 藤井寿崇 森島茂樹 山田要	昭57 安藤幹人 谷本弘二 野口敏彦 菊間信良 高橋清 内匠逸
昭35 梅野正義 岡田至 岡田昌孝 後藤秋生 菌田耕一 中西和義 小田征一郎	昭58 富田広和 村上真人 浅井英利 河合隆文 星野昭広
昭36 神谷昌弘 木下清彦 定本建二 佐藤照夫 堤格士 西村秀夫 藤原康宏 細野猪三雄 馬路才智 増田勝一	昭59 酒井泰誠 大竹悟司 堀井良和 徳田恵一
昭37 伊藤信大 木村光夫 久保村徳太郎 田中一義 土居秀行 野田昭 半田徹 堀崎浩一 水谷欽弥	昭61 岩崎誠 熊崎昭
昭38 今井一典 江野窪文章 是木修一 杉岡修次 田口守彦 長尾良章 中谷光男 丹羽敏行 平田欽也 福田益美 牧直樹 宮原雅彦 宮本誠一朗 森田公 八代弘 脇坂克彦	昭62 犬塚信博 羽賀政雄 森田良文
昭39 浅野勝弘 岡田守弘 下前哲夫 角田元 高井律男 田村英也 水澤健一 矢田公一 山本俊伸 吉田嶽彦	昭63 鎌田和弘 平元 林宏明 八木健 林敬 平3 隅田光一 榊原久二男 平4 白田尚志 野村尚史 平5 中村剛士 平6 小坂卓 加藤利通 平7 松井俊浩 平9 石川雄二郎 平10 布目敏郎 平11 酒向慎司 平14 村瀬真吾 平18 寺地恭久 三好実人

- 平 21 鬼頭稔  
 平 22 杉田遼 浅田徳弘  
 平 23 物種孝政 鹿田景之  
 平 25 杉山佑太 伊藤佳進  
 平 26 竹下・小坂研卒業生一同

## 学 科 近 況

### ◎ 学科役職(新年度の電影会関連教職員のみ)

#### 平成 26 年度電気電子工学教育類

教育類長 岩崎 誠 教授  
 副教育類長 曾我 哲夫 教授  
 菊間 信良 教授

#### 平成 26 年度情報工学教育類

教育類長 佐藤 淳 教授  
 副教育類長 片山 喜章 教授  
 和田山 正 教授

#### 平成 26 年度情報工学専攻

専攻長 犬塚 信博 教授  
 副専攻長 梅崎 太造 教授  
 森田 良文 教授

#### 平成 26 年度就職担当

電気電子工学教育類 榊原 久仁男 教授  
 情報工学教育類 松尾 啓志 教授  
 津呂 公暁 准教授

### ◎ 平成 25 年度退職教職員

情報工学教育類 白石 善明 准教授(転出)  
 矢橋 清二 技術職員(定年退職)

### ◎ 平成 25 年度新任教職員

電気電子工学教育類 関 健太 准教授  
 松本 裕司 助教  
 情報工学教育類 川島 龍太 助教

## 総 会 通 知

平成 26 年度電影会総会並びに懇親会のお知らせ

日時:平成 26 年 5 月 23 日(金)

17 時 00 分~20 時 30 分

会場:<総会・講演会>名古屋工業大学  
 23 号館 1 階 2312 教室(旧共 2 教室)

<http://www.nitech.ac.jp/access/index.html>

<懇親会>大学会館 1 階 生協大食堂

会次第:

16 時 30 分 総会受付開始

17 時 00 分 総会

17 時 30 分 講演会

演題:「名古屋工業大学の現状と将来」(仮題)

講師: 鶴飼裕之 氏 名古屋工業大学長

18 時 30 分 懇親会(大学会館大食堂)

懇親会会費:5,000 円(一般)

2,000 円(学生)

(当日会場受付で頂きます)

なお、昭和 39 年 3 月の御卒業で総会に御出席の各位には、ご卒業満 50 年をお祝いいたしましてご招待させていただきます(会費無料)とともに、ささやかではあ

りますが、記念の品をお贈りいたします。平成 25 年の総会ではご卒業満 50 年の皆様一同から記念のご寄付をいただいております、よい伝統になればと願っております。また、名古屋工業大学にもご寄付をいただきました。

今年も学科長、就職担当教授をはじめ多数の教員、博士後期課程(ドクターコース)の留学生を含む在学学生も出席予定です。皆様お誘い合わせの上のご出席をお待ち致しております。

## お知らせ

名古屋工業会第 48 回会員総会が、5 月 24 日(土)に開催されます。皆様奮ってご参加のほどよろしく願いたします。

## 電影会寄付募集のお願い

現在、電影会は名工大へ入学時に皆様からお納めいただいた会費、並びに卒業された皆様からの寄付金によって運営されています。

でんえい会誌の発行やホームページによるサービスを始め、電影会の運営をスムーズに行うため、今後とも皆様からの寄付をお願いいたしたく存じます。よろしくお願申し上げます。

尚、寄付をいただいた方は、次号にお名前を掲載させていただきます。

一口 : 2000 円

郵便振込先:00860-9-19618 電影会

## 名古屋工業大学基金寄付募集のお願い

現在、名古屋工業大学は皆様からの寄附を募集しております。詳しくはウェブサイト(<http://www.nitech.ac.jp/kikin/>)をご覧ください。

## 投稿記事の募集

でんえい会誌の記事を募集いたしますので、会員の皆様からの積極的なご投稿を電影会までお願いいたします。1 ページ約 1600 字です。

編集委員 内匠 逸(Es57) 岸 直希(EJh12)

岩崎 誠(E61) 松井 俊浩(EJh7)

布目 敏郎(EJh10)

発行 名古屋工業大学内電影会

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

Tel: (052) 735-5459 (ながれ領域事務室)

Tel: (052) 735-5455 (事務:岩崎庶務理事)

Fax: (052) 735-5455 (事務:岩崎庶務理事)

E-mail: office@denei.jp

URL: <http://www.denei.jp/>